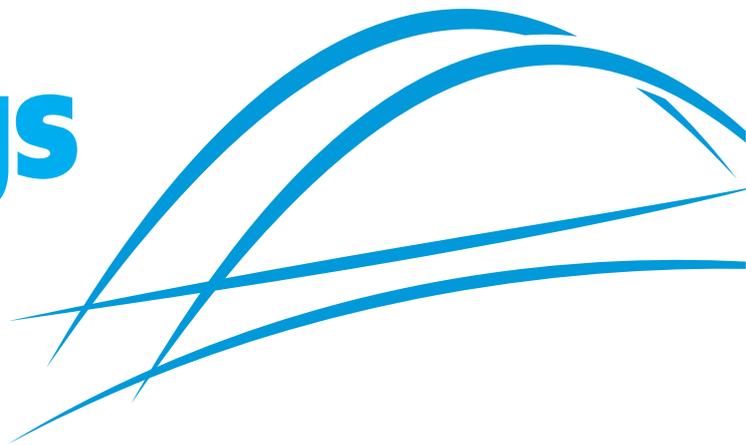


Br. Holdings Report



第21期 年次報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

証券コード：1726



深山トンネル 福井県敦賀市(北陸新幹線)



株式会社 ビーアールホールディングス

Br.Holdings

株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長

藤田 公康

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ第21期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)を終了しましたので、その事業活動の概況をご報告させていただきます。

当期成績および

今後の見通しについて

当連結会計年度におけるグループ全体の受注高は40,297百万円となりました。主力事業である建設事業におきましては、当期受注高は高速道路の床版取替工事の大型受注が順調に推移した

結果、前年同期から25.2%の増加となり、手持ち工事高は49,010百万円となる一方、当連結会計年度の期首手持工事高の減少等が影響し、売上高は30,853百万円(前年同期比1.2%減)となりました。また、前年同期の大幅な設計変更獲得による利益計上に対する反動及び契約変更確定の翌期以降への時期ずれ等により、当連結会計年度の売上高は36,022百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は1,636百万円(前年同期比28.5%減)、経常利益は1,624百万円(前年同期比29.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,025百万円(前年同期比32.8%減)となりました。

今後の事業環境見通しにつきましては、2015年度にスタートした高速道路会社(NEXCO各社)による総額で3兆円を超える「高速道路リニューアルプロジェクト(高速道路の大規模な更新・修繕事業)」の順調な進捗に加えて、鉄道関連では北陸新幹線(金沢～敦賀間)、北海道新幹線(新函館北斗～札幌間)、リニア中央新幹線(品川～名古屋間)および大阪市までのリニア延伸計画など、大型プロジェクトによる一定の発注量増加が見込まれております。

更に、政府が2021年度から5か年で15兆円の予算規模で推進する「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」では、高規格道路のミッシングリンク解消および暫定2車線区間の4車線化などの道路ネットワークの機能強化対策や、道路施設の老朽化対策などが重点施策とされており、事業量が増加する見込みです。

2023年度は収益認識基準の適用により一定の売上が見込まれますが、加えて当期に受注した大型工事の進捗が2023年度より進むと予測すること等から、次期連結業績につきましては、売上高は過去最高の42,000百万円、営業利益は2,050百万円、経常利益は2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,300百万円を見込んでおります。

働き方改革への取り組み

世界中に感染拡大した新型コロナウイルスは2023年5月に感染症2類相当から5類に移行となりました。

約4年にわたるコロナ禍においては感染防止の観点からテレワークや時差出勤を積極的に推進してまいりましたが、「アフターコロナ」に向けて引き続きフレックスタイム制度の導入や福利厚生充実の注力するとともに、定期的な従業員満足度調査の実施により、就労環境の更なる向上、従業員の心身の健康を守るための活動を積極的に進めてまいります。

G7開催、SDGs・カーボンニュートラル実現に向けて

2023年5月19日～21日に広島市内において日本を議長国としたG7サミットが開催され、国際社会が直面する様々な重要課題について議論されました。当社グループとしても2030年を目標とするSDGsを前提とした2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、CO₂排出量の多いセメントの代替材料の利用促進や環境に配慮したK-LIP工法やマイクロパイル工法といった独自技術の採用拡大に取り組んでいます。また新たに開発された技術ELSS Joint(2022年7月プレスリリース)も順調に技術採用が進んでおり、目下吉野川床版取替工事(2022年5月単独受注)での正式採用や法道寺大橋ほか2橋の床版取替工事(2022年10月単独受注)でも採用見込みとなっております。さらに、本社所在地の広島県で発生する廃棄物を活用し、CO₂吸収に資する技術開発の推進やグリーンエネルギーの利用促進などにより、持続可能な社会の構築に向け、継続的に取り組んでまいります。

グリーンボンド投資

当社は、このたび、広島県が発行するグリーンボンドに投資しました。

瀬戸内海の良好な漁場環境の創出(藻場造成)や、昨今の気候変動に対応するための河川改修等環境保全活動をはじめ、地球温暖化対策に積極的に取り組む広島県の環境施策に共感・応援していくことで、持続可能な環境・社会の実現に向けて貢献してまいります。

2023年6月

連結財務ハイライト

売上高



営業利益



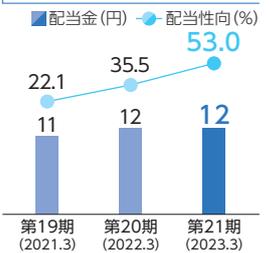
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



配当金/配当性向



セグメント別の概況

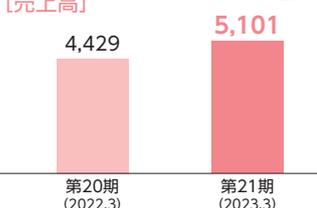
建設事業

橋りょう土木工事の設計・施工



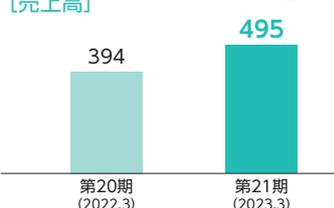
製品販売事業

コンクリート二次製品の販売



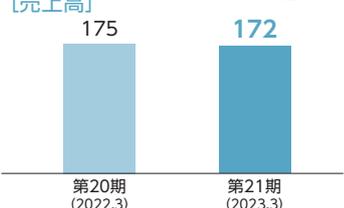
情報システム事業

システム開発・販売



不動産賃貸事業

当社ビルのマンション賃貸運営等



(注) セグメント間取引を含めております。

TOPICS ①

[東日本コンクリート株式会社]

風越2号橋上部工工事

▶ 宮城県石巻市

風越2号橋は、曲がりくねった山道に橋を渡すことで安全でスムーズな通行を実現する新設橋りょう工事です。東日本コンクリート(株)は前後の風越1号および3号橋も施工しています。



TOPICS ②

[東日本コンクリート株式会社]

大江川捷水路橋上部工工事

▶ 宮城県大崎市

捷水路(しょうすいり)とは河川が蛇行している部分をまっすぐに直して、洪水を安全に流し下すために削り開かれた人工の水路です。

近年、氾濫や床下浸水などの水害が頻発している大江川流域に設置中の捷水路に架かる橋りょうとして施工いたしました。



TOPICS ③

[極東興和株式会社]

矢田橋上部工工事

▶ 兵庫県美方郡香美町

矢田橋は兵庫県北部の香住村岡線に架かる旧矢田橋の架け替え工事に伴う新設橋です。

香住駅と香住のカニ旅館街を結ぶ重要な交通インフラで、地元住民の皆様からも完成を熱望されていた橋りょうです。複雑な曲線を実現するため、綿密な計画のもとで、細心の注意を払い施工いたしました。



TOPICS ④

[極東興和株式会社]

野畑発電所総合更新工事のうち土木本工事

▶ 大分県由布市

野畑発電所は、大分県由布市にある九州電力の水力発電所です。一部設備の老朽化のため、更新工事が行われました。

大型の杭打機では搬入および杭の打設が困難な条件のため、ラフタークレーンで軽量の杭打機を設置して施工することが可能なSTマイクロパイプ(タイプI)が採用されました。



「人と人」「技術と技術」の橋渡し

当社グループはパブリックカンパニーとして地域に根差した活動を大切にしています。

地元子どもたちによる橋面お絵描き大会から高校生・大学生を対象とした見学会や体験学習まで、様々なイベントを通じて地域への関心・建設業への興味を深めてもらえるよう日々活動しています。

港新橋 〈熊本県天草市〉

極東興和株式会社



将来の技術者育成の啓蒙活動として地元の高校生・高等専門学校生を対象とした見学会を開催しました。

須子高架橋 〈島根県益田市〉

極東興和株式会社



地域の中学生の現場見学会を行いました。プレストレストコンクリートの強さを体験できる『ぴんぴん板』は、見学者にも発注者にも好評でした。

地域の祭り『ひろまるフェスタ』への参加や、既設橋へのイルミネーション、近くの保育園児によるお絵描き大会も実施し、多くの方に参加していただきました。

表紙写真について

▶ 北陸新幹線、深山トンネル他 〈福井県敦賀市〉

当工事は工事延長が長く(約2.7km)、橋梁の基礎工事から上下部工事、トンネル工事等、多くの工種が含まれ、竣工までに4年半を要する大型工事でした。

本事業の完成により、首都圏、北陸圏及び関西圏をつなぐ大規模災害に強い極めて重要な交通インフラになると期待されます。



Development of New Technologies × Sustainable Management

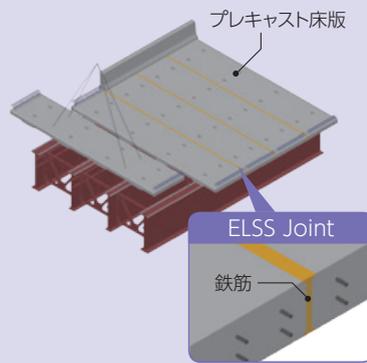
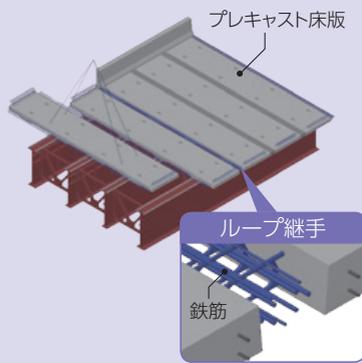
当社では、地球温暖化防止を目的とした2050年カーボンニュートラルの実現に向け、新技術の開発やCO₂排出量の多いセメントの代替材料(高炉スラグ微粉末、フライアッシュ等混和材)の利用促進や環境に配慮した独自工法の採用拡大、グリーンエネルギーの利用促進などにより、サステナブルな社会の構築に向け、継続的に取り組んでまいります。

New Technologies ①

「ELSS Joint (エルスジョイント)」

日鉄エンジニアリング株式会社と極東興和株式会社の2社で共同開発したプレキャスト床版の「継手」に関する工法が公共事業として初採用されました。(2022年7月7日プレスリリース)従来の鉄筋を用いたループ継手に対して、低剛性の専用材料を充填するだけで床版相互を半剛接合させる新しい工法で、これにより床版の幅を広げて施工枚数を減らすことが可能となります。また継目部に鉄筋を使用することなく接合できるため、床版の現地施工の大幅な効率化(約11%の工期短縮)を実現し、CO₂排出量の削減に寄与しています。

【従来継手(ループ継手)(左)と開発した継手構造(右)の構造概要】



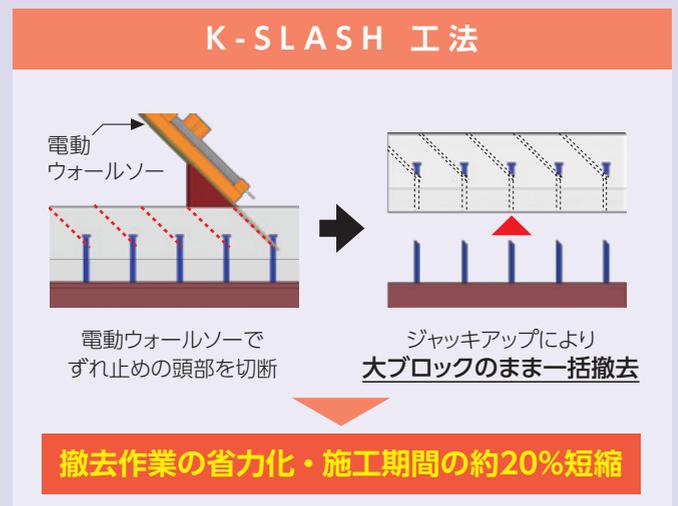
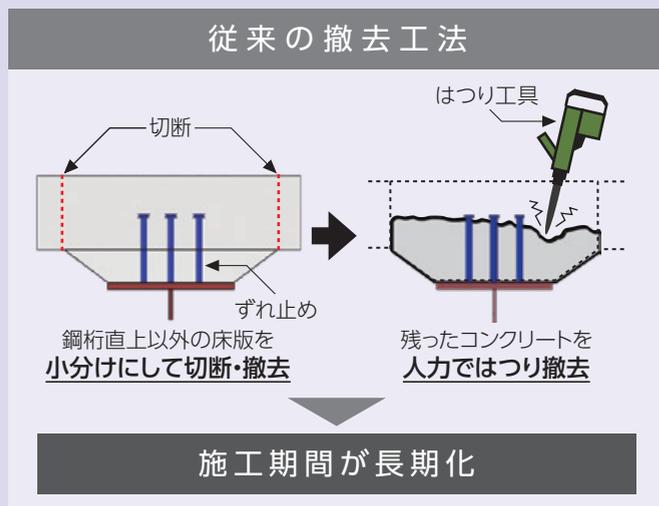
プレキャスト床版架設写真

New Technologies ②

「K-SLASH 工法 (ケイ斯拉ッシュ)」

既設鋼橋(合成桁橋)の鉄筋コンクリート床版更新工事における独自工法で、電動ウォールソーによりコンクリート内部のずれ止め用鉄筋を斜めに先行切断することで効率的に鋼桁から床版を分離・撤去することができる工法です。複数作業の同時並行化と大ブロックでの床版分離・撤去作業を可能とし、従来工法と比較して撤去作業の省力化や施工期間の短縮(約20%)に寄与します。

【従来の撤去工法とK-SLASH 工法による既設RC 床版撤去概要】



会社概要

(2023年3月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 商号 | 株式会社 ビーアールホールディングス Br.Holdings Corporation |
| 設立 | 2002年9月27日 |
| 本社所在地 | 広島市東区光町二丁目6番31号 |
| 電話 | 082-261-2860(代表) |
| 資本金 | 4,813,847,000円 |
| 決算期 | 3月31日 |
| 従業員数 | 12名(連結599名) |

代表者及び役員

(2023年6月16日現在)

| | |
|---------------|---------|
| 代表取締役社長 | 藤田 公 康 |
| 取締役 | 石 井 一 生 |
| 取締役 | 山 根 隆 志 |
| 取締役 | 天 津 武 史 |
| 取締役 | 末 竹 一 春 |
| 取締役・常勤監査等委員 | 山 縣 修 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 小 田 清 和 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 佐 上 芳 春 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 三 浦 房 紀 |

株式の状況

(2023年3月31日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 120,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 45,795,000株 |
| 株 主 数 | 52,202名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------|---------|---------|
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,474 | 9.85 |
| トウショウアセットマネジメント株式会社 | 4,010 | 8.83 |
| 藤田公康 | 2,001 | 4.40 |
| ビーアールグループ取引先持株会広島支部 | 1,032 | 2.27 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,026 | 2.26 |
| 広成建設株式会社 | 988 | 2.17 |
| ビーアールグループ社員持株会 | 968 | 2.13 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 800 | 1.76 |
| トウショウ産業株式会社 | 782 | 1.72 |
| 藤田衛成 | 670 | 1.47 |

(注)持株比率は自己株式(384千株)を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|----------------------------|---------------|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金 受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金 受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

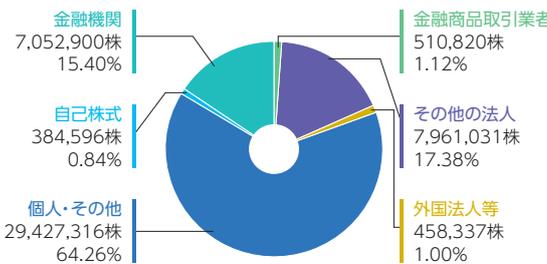
上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場)

電子公告により行う。
当社ホームページ(<https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html>)にて掲載。
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

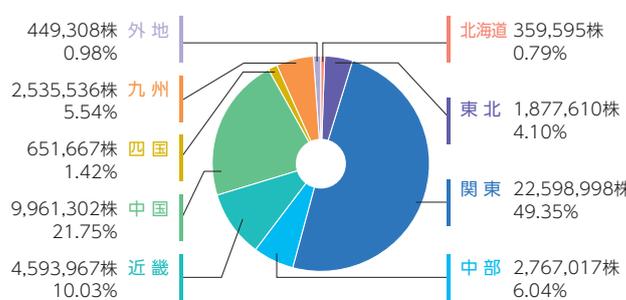
株式分布状況

(2023年3月31日現在)

[所有者別株式分布状況]



[地域別株式分布状況]



グループの概況

(2023年3月31日現在)

極東興和株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市

事業内容/PC構造物の設計・施工
PC及びRC製品の設計・製造・販売等
コンクリート構造物の診断・補修・補強等



キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/PC製品及びコンクリート二次製品の設計・製造・販売・施工等

ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市

事業内容/ソフトウェアの設計・開発及び販売等

豊工業株式会社

本社所在地/大分市

事業内容/PC及びコンクリート二次製品の製造・販売等



株式会社 ビーアールホールディングス

Br.Holdings

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861

ホームページ <https://www.brhd.co.jp/> (IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからもご覧ください。)

